

## 町長あいさつ

「みんなで創ろう住み続けたいまち よしおか」。

私は、平成31年4月の就任以来、その実現に向けて、住民目線の町政運営を進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の発生は、これまでの常識を大きく変化させ、新たな生活様式や従来になかった危機への備えなど、新しい価値観をもたらしました。

ここで重要視すべきことは、コロナ禍により気づき、気付かされたことを今後どのように町政に活かしていくか、この大きな社会変化を町の将来にどのように反映していくかとなります。

本町は、本格的な人口減少社会のなかにあっても、その恵まれた立地や広域的なアクセスの良さ、商業施設など買物の場が充実した日常生活の利便性から人口増加を続けており、多方面で住みやすい町として注目されております。

しかし、いずれ本町にも人口減少の波は訪れます。だからこそ、原点に立ち返り、現状分析から堅実な将来展望のもと、一步一步事業を推進し、足元を固めていくことが必要となります。

その道筋となるのが、第6次吉岡町総合計画であります。

本計画は、新たな時代潮流や本町の強みと課題を踏まえ、持続可能なまちづくりの指針となるよう、策定を進めてまいりました。

これからの10年間は、これまで築きあげられてきた姿を継承し、町のあるべき姿をより確かなものにしていくため、将来像を「思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり吉岡」と掲げ、その実現に向けて全力で取り組んでまいります。

本町は、平成3年の町制施行から30年を迎えることができました。今後におきましても持続的な発展を見据え、すべての住民が多様性を受け入れる風土と郷土愛を育む心を持ち得ることができるよう、町のブランド力向上に邁進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

吉岡町長

柴崎 徳一郎